

経営評価シート

1. 団体の基本的情報							
団体名	福岡北九州高速道路公社			設立年月日	昭和46年11月1日		
所在地	福岡市東区東浜二丁目7番53号						
出資総額	221,519,600千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	110,759,800千円		福岡市	82,012,000千円	37.0%		
県出資割合	50.0%		北九州市	28,747,800千円	13.0%		
				千円	%		
設立目的等	福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その通行または利用について、料金を徴することができる指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕、その他の管理を行うことにより、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業の発展に寄与する。						
現状の主要事業の内容							
事業名	事業内容						
福岡高速道路	福岡高速道路の維持、修繕、その他の管理を行うこと。計画延長59.3km、供用中56.8km。						
北九州高速道路	北九州高速道路の維持、修繕、その他の管理を行うこと。計画延長49.5km、供用中49.5km。						
事業実績に関する情報	単位	H24	H25	H26	H27	H28	備考
供用延長(福岡高速道路)	km	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	
供用延長(北九州高速道路)	km	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5	
通行量(福岡高速道路)	台/日	170,961	177,947	177,666	182,155	187,428	
通行量(北九州高速道路)	台/日	85,794	88,424	87,903	89,364	92,102	
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長	山中 義之	区分	国OB	常勤		
常勤役員名	副理事長	原 寛則	区分	県OB			
	理事	高田 則好	区分	県OB			
	理事	案浦 徳治	区分	福岡市OB			
	理事	松永 功	区分	北九州市OB			
		H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1
常勤役員数		6名	6名	6名	6名	5名	5名
職員数	常勤(正規)	87名	79名	80名	82名	85名	95名
	うち プロパー	58名	48名	50名	49名	49名	56名
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	55名	56名	58名	63名	68名	64名
	合計	142名	135名	138名	145名	153名	159名
増減の主な理由							
<ul style="list-style-type: none"> ・固有職員については、平成28年度に事業着手した福岡高速6号線建設及び福岡空港関連自動車専用道路の早期事業化に向けた調査等のため7名増となった。 ・設立団体派遣職員について、技術的支援等から3名増となった。 ・嘱託等・臨時職員については、再雇用職員の任用期間満了等で4名減となった。 							
3. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役員再掲)		H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1
	県派遣	9名	8名	8名	7名	8名	15名
	県OB	2名	2名	2名	2名	2名	2名
財政支出		H24	H25	H26	H27	H28	備考
	出資金	183,000千円	-	-	-	111,000千円	
	貸付金	183,000千円	-	-	-	259,000千円	
	補助・負担金	11,587千円	10,306千円	11,213千円	11,664千円	11,955千円	
	委託料	-	-	-	-	-	
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H24～H28)							
福岡高速環状線の全通(平成24年7月)により現在の整備計画に基づく建設事業が終了し、今後は安全・安心な都市高速を維持していくことが課題となる。維持管理を中心とする組織・人員体制のもと、老朽化・予防保全対策、サービス改善事業及び利用促進・売上増進などに取り組み、利用者サービスの向上と効率的な公社運営の推進に努める。							
4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況							
別紙に記載							

5. 経営状況(道路公社)							
項目	単位	H24	H25	H26	H27	H28	
【貸借対照表】							
資産合計	千円	1,252,252,100	1,254,439,893	1,255,712,376	1,257,343,344	1,260,662,784	
うち金銭債権	千円	4,472,952	4,787,225	5,309,512	5,239,767	5,417,310	
うち棚卸資産(販売用不動産含む)	千円	-	-	-	-	-	
負債合計	千円	1,030,131,104	1,032,264,213	1,033,486,601	1,035,068,044	1,038,111,372	
うち借入金額	千円	722,525,529	689,861,329	656,701,353	623,875,318	588,237,042	
うち県からの借入金額	千円	73,377,279	66,047,221	58,890,998	52,222,955	46,372,405	
資本の部合計	千円	222,120,996	222,175,679	222,225,775	222,275,300	222,551,411	
県債務保証額又は損失補償額	千円	286,889,287	277,887,068	268,463,048	258,217,729	247,858,720	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
【損益計算書】							
業務収入①	千円	53,416,156	55,771,084	57,175,751	58,415,216	60,016,520	
業務損益②	千円	42,036,610	43,906,023	42,889,911	43,399,281	44,896,534	
償還準備金及び道路(駐車場)事業損失補てん引当金繰入前損益③	千円	32,281,280	34,091,573	34,256,758	35,538,774	38,226,910	
当期損益	千円	31,763	54,683	50,096	49,525	54,111	
【収支計算書】							
総収入 A	千円	88,503,153	93,062,318	99,515,178	108,546,791	112,942,927	
うち県財政支出額	千円	377,587	10,306	11,213	11,664	122,955	
内訳:出資金	千円	183,000	-	-	-	111,000	
内訳:補助負担金	千円	11,587	10,306	11,213	11,664	11,955	
内訳:委託料	千円	-	-	-	-	-	
内訳:貸付金	千円	183,000	-	-	-	-	
総支出 B	千円	88,071,127	93,202,293	99,537,615	107,533,309	113,775,097	
うち人件費総額	千円	1,362,646	1,106,342	1,248,990	1,130,658	1,114,746	
当期収支 A-B	千円	432,025	△ 139,975	△ 22,437	1,013,481	△ 832,171	
【財務指標】							
自己資本比率	%	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	
県財政支出率	%	0.4	0.0	0.0	0.0	0.3	
人件費率	%	2.6	2.0	2.2	1.9	1.9	
繰入前損益率	%	60.4	61.1	59.9	60.8	63.7	
【団体毎の経営評価指標】							
料金収入実績							
福岡高速	千円	36,975,367	38,535,809	39,594,758	40,732,264	41,826,659	
北九州高速	千円	15,639,703	16,300,500	16,686,898	17,016,524	17,527,887	
収支率(費用/収入)							
福岡高速	%	39.2	39.8	41.7	40.9	37.8	
北九州高速	%	55.3	51.1	50.4	50.0	47.6	
【常勤役職員の報酬・給与に関する状況(平成28年度)】							
常勤役員平均年齢	60.2歳	常勤役員平均年収	10,468千円	常勤職員平均年齢	41.5歳	常勤職員平均年収	7,272千円
【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】							
<p>福岡高速及び北九州高速ともに交通量の増加に伴い、料金収入実績が増加した。 借入金について、福岡高速6号線の事業着手に伴って新たに建設資金の借入れを行ったが全体的には減少した。 この結果「償還準備金及び道路事業損失補てん引当金繰入前損益③」は、前年度より7.6%増加した。 また、「収支率(費用/収入)」についても両路線とも減少した。</p>							
6. 団体(経営責任者)の自己点検評価							
<p>福岡高速の交通量は増加傾向にあり、平成28年度は、前年度を約2.9%(一日当り5,273台)上回って増収となっている。今後の課題としては、福岡県、福岡市と当公社で福岡空港関連自動車専用道路の早期事業化について合意していることや平成28年度から事業着手している福岡高速6号線建設事業に対応するため、組織・人員体制の強化が急務となっている。 北九州高速でも交通量は増加傾向にあり、平成28年度は、前年度を約3.1%(一日当り2,738台)上回って増収となっている。今後とも適正な維持管理に努めるとともに利用促進を図っていく。</p>							
7. 外部専門家の意見							
<ul style="list-style-type: none"> 福岡高速、北九州高速ともに、前年度に引き続き通行量及び料金収入が増加している。 福岡高速において新たな事業推進に取り組んでおり、今後も健全な経営を維持するため、引き続きコスト削減に取り組むことが求められる。 							
8. 経営評価委員会による経営評価結果							
<p>目標期間中の通行量及び料金収入は、景気の回復や接続する高速道路の開通・延伸等から増加傾向にある。借入金の償還は、公社の経営努力もあって順調に進んでおり、改善目標は概ね達成されている。都市圏幹線道路の整備促進を図るため、福岡空港関連自動車専用道路の早期事業化及び福岡高速6号線の事業推進も必要であるが、今後とも高速道路の利用促進や経費削減により、公社経営の安定化に努めるとともに、安全・安心な高速道路を維持するために計画的に老朽化・予防保全対策に取り組むことが求められる。</p>							

※県債務保証額には利息分を含まない。

4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段:計画 下段:実績						自己評価	改善目標区分の達成に向けたH28の取組状況
				H23	H24	H25	H26	H27	H28		
事業活動・住民サービス (計画性 公益性等)	①都市高速の利用促進により社会・経済活動の円滑化を図る。	交通量 (福岡・北九州合計)	台/日		249,800					251,200	A お客様のご意見に基づき、ホームページ「動画で案内!都市高速」の動画を改良し、ジャンクションや出口付近の案内を充実させた。また、県内の自動車学校で新規免許証取得者へ配布されるメディア発行の冊子で都市高速を走行する上でのポイント等を紹介すると共に、小学生・保護者を対象とする冊子でPRを行うことにより、家族でお出かけの際の都市高速利用を促した。また、ホームページの周辺施設案内を充実させた。
				250,140	256,755	266,371	265,569	271,519	279,530		
		料金収入 (福岡・北九州合計)	百万円/年		50,674					50,917	
				51,191	52,615	54,836	56,282	57,749	59,355		
		供用延長 (福岡高速)	km		56.8					56.8	
		55.9	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8				
			49.5					49.5			
		49.5	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5				
	②福岡高速は、当初の供用から32年が経過し、老朽化による損傷が増加傾向にあるため、アセットマネジメントを取り入れた老朽化・予防保全対策を今後20年かけて実施する。	老朽化対策及び予防保全対策進捗率 (金額ベース) 老朽化対策 240億円 予防保全対策 390億円	%		1				24	B H24から橋梁の現状調査等を実施し、事業計画の策定等を行い、H27から本格的な上部工・下部工の対策に着手した。現在は事業計画に基づき着実に実施している。	
		H24から実施		1	3	5	9	13			
財務会計 (経済性 効率性等)	①借入金の調達に際し、効率的な資金調達に努め、将来の金利負担の軽減に努める。	自己資本比率	%		17.7					17.7	A 毎年数値が安定しており、安全性が保たれている。
				17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7		
	資金調達方法	-		10年・超長期 公募債の発行						10年・超長期 公募債の発行	A 10年・15年・20年公募債の発行を行い、金利コストにかかる変動リスクの分散を図った。
			10年・15年・20年公募債の発行								
②効率的な経営を推進し、県財政負担の削減、人件費の抑制に努め、安定的な収入確保による計画的な長期借入金残高の縮減を図る。	県財政支出額	千円		379,742					11,968	A 福岡高速6号線の事業着手に伴い、出資金及び貸付金が増加した。※中期経営計画策定時、6号線建設は想定されていなかった。	
			686,949	377,587	10,306	11,213	11,664	381,955			
	人件費率	%		2.9					2.2	A 業務収入の額が計画を上回ったこと等により、人件費率は計画を0.3P下回った。	
		2.5	2.6	2.0	2.2	1.9	1.9				
長期借入金残高	百万円		730,325					632,741	A 福岡高速6号線事業着手で借入金が発生したものの、料金収入の増及び借入金利息の減により償還は順調に進んでおり、借入金残高は全体として減少している。		
		752,385	720,526	687,861	654,701	620,875	588,237				
内部管理 (健全性等)	①平成25年度以降、維持管理を中心とする組織・人員体制の構築を図る。	県派遣職員数	人		9				7	C 平成24年度の福岡高速5号線完成後、維持管理を中心とする組織・人員体制の構築に努めたが、平成27年3月の福岡県・福岡市・公社の三者合意(アイランドシティ線及び空港関連自専道の早期事業化・公社有料道路事業の活用)を推進するため、組織・人員体制の強化が急務となっている。	
				9	9	8	8	8	8		
		公社正規職員数 (再雇用及び嘱託を除く)	人		88						62
		92	87	79	80	82	85				

達成状況(まとめ)

事業活動・住民サービスにおいては、道路利用者の安全性・利便性向上を目的にお客様のご意見に基づいて公社ホームページを改良し、ジャンクション部分での路線変更や出口付近について分かりやすく案内し、また、利用促進のため、都市高速近隣の観光・レジャー施設の案内等も充実させた。その他にも県内の自動車学校で新規免許証取得者へ配布されるメディア発行の冊子で都市高速を走行する上でのポイント等を紹介すると共に、小学生・保護者を対象とする冊子でPRを行うことにより、家族でお出かけの際の都市高速利用の促進に努めた。両都市高速とも交通量・料金収入は上昇傾向にある。

福岡都市高速の老朽化・予防保全対策については、H24から橋梁の現状調査等を実施して事業計画を策定し、H27から本格的な対策に着手しており、現在は事業計画に基づき、着実に実施している。

財務会計については、自己資本比率は設立団体から事業費に即した出資金が供給されているため、安定的に推移している。

資金調達では10年債、15年債、20年債を発行し、金利コストにかかる変動リスクの分散を図った。

県財政支出については、アイランドシティ線(福岡高速6号線)の事業着手に伴い、出資金及び貸付金が増加した。

人件費率は、業務収入の額が計画を上回ったこと等により、人件費率は計画を0.3ポイント下回った。

内部管理については、平成24年度の福岡高速5号線完成後、維持管理を中心とする組織・人員体制の構築に努めたが、平成27年3月の福岡県・福岡市・公社の三者合意(アイランドシティ線及び空港関連自専道の早期事業化・公社有料道路事業の活用)を推進するため、組織・人員体制の強化が急務となっている。

※自己評価について ... A. 達成されている。概ね達成されている。 B. 目標達成に向けた取組みは行っており、概ね評価できる。 C. 目標の達成は難しい。